



サクラの開花予想は、どうやって出すの

サクラの開花予想

サクラの開花日は、地域や土地の高さのちがいなどによって、だいぶ変わります。鹿児島で開花してから、東京で開花するのは、4～5日ぐらい後なのに、東北の北部で開花するのは、約1か月も後になります。また、土地の高さが100メートル高くなるごとに、開花日が、およそ3～5日ぐらいおくれます。

サクラの開花予想は、日本全国で、90か所以上の観測地の開花を予想して、気象庁でまとめて発表しています。

サクラの花の芽が、冬のねむりからさめる温度や、花の芽が成長する温度などを基にして、開花日の予想をします。

そして、開花日を予想するために、開花日と開花前の気温の関係や、開花の1～2か月前の気温との関係から、開花が予想される日を計算していきます。以前はつぼみの重さもはかって参考にしました。

サクラ前線

サクラの花が咲いている地域と、これから咲く地域の境目に引いた線は、天気図の前線とよく似ているので、サクラ前線とよばれています。サクラ前線は、ソメイヨシノの開花日を基準にしています。

サクラ前線が北上する速さは、関東地方では、1日に約30キロメートルですが、津軽海峡をこえて北海道を北上するころは、1日に約15キロメートルとおそくなります。

(監修・村山 貢司)

